

内定者に聞く！ インターンシップ体験！

こんにちは！

チーム「関東居住者」です！

就活生の皆さんいかがお過ごしですか？11月に入り、冬のインターンシップを意識し、準備を行う時期かと思います。さて、今回の記事は2025年卒内定者5名が、就職活動全体を通して参加したインターンシップでの経験や学びをご紹介します。内定者のインターンシップ経験を知りたい方々の参考になると大変嬉しいです！



Sさんのインターンシップでの経験や学び

就職活動を通じて、いくつかのインターンシップに参加させていただきましたが、どのインターンシップも短い時間で自分が業務に向いてるかどうかを感じることができたと思います。特に私の場合、夏の時点では幅広い業界を見ていたので、インターンシップに参加したことで志望業界を狭めることができました。

また、学生の間では何社インターンシップに参加したかといった話題が度々挙がると思いますが、私個人としては何社参加したかではなく、参加したインターンシップで何を得られたかが重要だと考えています。

読者の皆さんの中には、夏インターンシップにあまり参加できなかったという方もいるかと思います。私もインターンシップの選考が進まず、自信を失い不安になることが何度もありました。しかし、その中で私が学んだのは、参加させていただいた一つひとつのインターンシップに感謝し、そこで得た情報や感触を大切にすることが大事だということです。就職活動をしていると、周囲と自分を比べてどこか劣等感を抱く瞬間もあると思いますが、自分に自信を持ち、与えられた一つひとつの機会を大切にすることがなによりも重要だと私は思います。どのようなインターンシップでも、必ず得られるものはありますし、そこで意外な出会いがあるかもしれません。是非今まで参加したインターンシップにもう一度向き合い、そこで得た情報や感触を大切に就職活動を進めてみてください！



Mさんのインターンシップでの経験や学び

インターンシップで得られるものは主に2点だと考えます。1点目は企業・業界理解です。やはり企業説明会や新卒採用サイトだとどうしても漠然としたイメージしか持てないように感じます。インターンシップに参加して自分で手を動かしてみたり、社員の方々から直に話を聞いてみたりすることで自分が働く上での解像度が大きく上がることを実感しました。2点目は社風を肌で感じられることです。色々な企業のインターンシップに参加する中で、「この会社いいな」や「自分とは少し違うかも？」といった感覚を抱きました。この肌感覚もインターンシップに参加しないと得られないものです。是非色々な企業のインターンシップに参加して、ここで働きたい！と思える企業を探してみてください。

Tさんのインターンシップでの経験や学び

インターンシップを通じて得た学びは大きく2つあります。

1つ目は、企業説明会で感じた興味や違和感を言語化できたことです。

インターンシップで実際の業務を疑似体験することで、自分がどの業務に魅力を感じているからこの業界に興味を持っているのかが明確になりました。これにより、企業とのマッチングが成功するだけでなく、エントリーシートや面接での志望動機に具体性と説得力を持たせることができました。

2つ目は、自分の就職活動における立ち位置を確認できたことです。

インターンシップには選考を突破した優秀な学生が多く参加しています。負けず嫌いな私は、そのような学生たちと自分を比較することで、自身の課題を見つけるとともに、就職活動へのモチベーションをさらに高めることができました。



Kさんのインターンシップでの経験や学び

私はインターンシップに参加したことで、業界・企業理解を深められ、また社風を肌で感じる事ができただけでなく、自己分析が深まったと感じています。

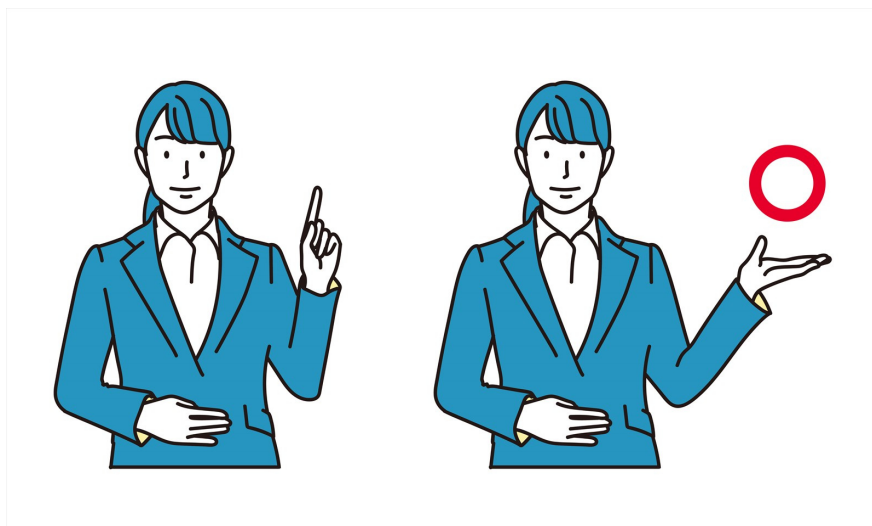
インターンシップに参加すると、漠然と自分には合う・合わないと感じる会社や業界がきっとあると思います。私の場合、いくつかの企業のインターンシップを通じて、どのような点がそう感じるのか共通項を探し、言語化することで、自分のやりたいことや、仕事への価値観、適性等が少しずつ浮かび上がってきました。

皆さん学業等で忙しいとは思いますが、インターンシップに参加して沢山の企業と出会い、自分にとって納得感を持てる会社を見つけてみてください。

Yさんのインターンシップでの経験や学び

本選考の面接で「なぜ競合他社ではなく、その会社で働きたいのか」という趣旨の質問をよく受けました。振り返るとこの質問にしっかり答えることができた面接は、インターンシップに参加した企業が多かったと思います。インターンシップに参加することで業務理解だけでなく、会社の文化や雰囲気、社員さんの働く意義やモチベーションなども聞くことができて勉強になりました。

また、私は同じインターンシップに参加している周りの優秀な学生と自分との差を実感して落ち込んでしまうことがありました。この時のメンタルケアの方法として、私は就活は自分との戦いだと自分に言い聞かせ続けました。そうすることで他の人と比較することなく自信を持って行動することができました。



最後に

最後まで記事を読んでいただきありがとうございます。

2025年卒内定者のインターンシップ経験はいかがだったでしょうか。

インターンシップは企業の業務体験に加え、就職活動を進めるにあたり重要な経験を積める場だと思います。読んでくださった就活生の皆さんも、インターンシップを通じて他では得られない経験を是非掴んでみてください！

また、今回でブログ記事の更新は終了となります。4回にわたり記事を最後まで読んでいただき、本当にありがとうございました。配信した記事が、少しでも今後の就職活動の役に立つことができているならば、チーム一同大変嬉しく思います。就職活動はまだまだこれからですが、ここまで読んでくれた皆さんがしっかりと自分の進む道を決め、満足のいく就職活動を送れることを心より願っています。

そして、もしご縁があったら、三菱UFJ信託銀行で再会しましょう！

最後まで読んでいただきありがとうございました！